

惑星社会のフィールドワーク —内なる惑星とコミュニティに“出会う”—

2025年3月20日発行

新原 道信 編著 中央大学出版部発行

本体価格7,200円(税別)

はしがき		
序章	限界と向き合う〈エピステモロジー／メソドロジー／デイリーワーク〉	新原 道信
第Ⅰ部 〈惑星社会／内なる惑星〉という“フィールド” (梗概:新原 道信)		
第1章	〈内なる惑星〉 —資源であり限界と可能性でもある—	アルベルト・メルッチ (新原道信訳)
第2章	〈身体〉 —境界線の束であり境界領域でもある—	アルベルト・メルッチ (新原道信訳)
第Ⅱ部 〈内なる惑星〉に“出会う” (梗概:鈴木 鉄忠)		
第3章	メルッチに“出会う” —意味は“出会い”のなかで与えられる—	新原 道信
第4章	“境界領域”としての生殖—再生産(reproduction) —自己を形成するプロセスにむけて—	鈴木 将平
第5章	〈異質な身体〉が発する声と存在を聴く —セルフヘルプ・グループにおける「内なる正常化」 への抵抗をめぐって—	利根川 健
第6章	障害者雇用の現場で〈異質な身体〉に“出会う” —雇用の場で「社会的関係」が拓かれるとき—	竹川 章博
第7章	「身体に耳を傾ける」ことの体得とその契機 —ものの見方に変化を与えるヨガの世界での“出会い”—	栗原 美紀
第8章	惑星社会をはだしで歩く —〈内なる惑星〉と身体のフィールドワーク—	鈴木 鉄忠
第Ⅲ部 コミュニティに“出会う” (梗概:阪口 毅)		
第9章	“コミュニティ研究”から“惑星社会のフィールドワーク”へ —“フィールド／フィールドワーク”の再定義—	新原 道信
第10章	「晴れ女」の祭り —都市公営団地の自治会行事からみる地域コミュニティの再生産—	阪口 毅 大谷 晃
第11章	フィールドワークの“創造力” —都市公営団地における“リフレキシヴな調査研究”の実践—	大谷 晃 阪口 毅
付論	記憶のなかの公営市場 —大阪市西成区玉出のモノグラフ—	史 涵 阪口 毅
終章	身体・地・時間	石岡 丈昇
あとがき		
索引		